



総務委員会	主要事業：広報推進事業 	
	今後の取組み方と提言1	市公式ラインアカウント登録者数やSNSのフォロワーを増やすための更なるPRやキャンペーン、イベントなどの企画に取組んでください。
	市からの回答	公式ラインについては、市報等でのPR、各公共施設窓口、デジタルサポート窓口等での登録案内に努めています。今後は、セグメント配信(ニーズに合った情報配信)に関係する部署と連携して更なるPRを展開し、登録者の増加に取組んでいきます。
	今後の取組み方と提言2	ホームページやSNSを見る事が出来ない市民、市報に関心のない市民の対応も取組んでください。
	市からの回答	高齢者等に配慮した広報誌の編集や各種報道機関へのアプローチも実施することでホームページなどを見る事が出来ない方、市報に関心のない方にもメディアを通じて、市の情報等が届くよう情報発信に努めます。
	今後の取組み方と提言3	市民にとって必要な情報の把握と市が提供しなければならない情報の取り扱いを明確にし、広報の推進に取組んでください。
市からの回答	市民の皆さんにお伝えしたい行政情報については、市報での特集やピックアップ情報として分かりやすく、見やすく掲載する工夫に努め、内容に応じて、SNSを広報媒体として活用していきます。	

文教厚生委員会	主要事業：いじめ・不登校対策事業 	
	今後の取組み方と提言1	スクールソーシャルワーカー(SSW)を早急に増員し、将来的には、5人程度配置してください。
	市からの回答	SSW1名あたりの標準的な支援件数を80件と想定し、令和4年度の支援対象実績(222件)に対応できるよう、2名増員して合計3人による支援体制の整備を図ります。
	今後の取組み方と提言2	不登校になる前の兆候を察知し、早期発見で未然防止するために、全ての小中学校において、SSWが福祉の視点でアセスメントを行える体制を整備してください。
	市からの回答	現在もSSW1名が福祉専門職として、全ての小中学校を対象に各種相談支援にあたっていますが、課題を抱える児童生徒の一人ひとりに対応できている状態ではないため、SSWの増員を図り、支援体制の強化に努めます。
	今後の取組み方と提言3	SSWは会計年度任用職員ですが、人材確保のため、正規職員とすることも検討してください。
	市からの回答	正規職員とすることの将来的な検討も含め、勤務内容や勤務条件の改善、働きやすい職場づくりなどを総合的に考え合わせながら取組んでいきます。
	今後の取組み方と提言4	多様な子どもたちに対応できるよう、SSWへの研修(庁内・庁外)の時間を確保してください。
市からの回答	福祉専門職としての研鑽に必要な研修会などに参加できるよう配慮します。	